牛 肉 情 勢

平成29年2月6日 更新　JA全農ミートフーズ株式会社

供給

1.国産

○ 平成28年12月成牛と畜頭数は、95.8千頭(前年比94.1%)となり、21ヶ月連続で前年割れとなった。
内訳を見ると、和牛44.4千頭(前年比91.5%)、交雑牛20.9千頭(同103.9%)、乳牛去勢16.1千頭(同96.1%)であった。
和牛、乳牛についての出荷頭数減少傾向が継続している実態を反映した数値となった。
※ 平成28年暦年の成牛と畜頭数は、1,043.0千頭(前年比94.7%)であり、内訳は和牛442.7千頭(同91.5%)、交雑牛223.5千頭(同100.8%)、乳牛去勢198.3千頭(同95.8%)であった。※

○ 平成29年1月の成牛と畜頭数は、速報値(1/31まで集計)で77.2千頭(前年比91.1%)と、大きく減少している。
(独)農畜産業振興機構が1月24日に公表した牛肉の需給予測によると、出荷頭数は、交雑種は酪農家における乳用牛への黒毛交配率の上昇により増加が見込まれるものの、和牛および乳用種は減少が継続すると見込まれる。全体では、1月は、1日当たりの出荷頭数が前年を上回るものの、と畜場稼働日数が前年を下回ると見込まれることから、前年をわずかに下回ると予測している。また、2月については1日当たりの出荷頭数およびと畜場稼働日数が閏年であった前年を下回ると見込まれることから、前年を下回ると予測している。

2.輸入

○ 平成28年12月の輸入通関実績によると牛肉輸入量は全体で45.1千ﾄﾝ(前年比122.0%)であった。
内訳は、チルドが23.1千ﾄﾝ(前年比122.9%、前月比109.1%)、フローズンは22.0千ﾄﾝ(前年比121.1%、前月比97.4%)であった。
チルドビーフについては、豪州産が10.5千ﾄﾝ(前年比93.1%)と減少したが、米国産が11.5千ﾄﾝ(同174.0%)と大幅に増加した。
米国産チルドビーフでは、ばらが5.3千ﾄﾝ(同150.8%)、かた・うで・ももが4.9千ﾄﾝ(同202.2%)と大きく増加し、ショートプレート、チャックアイロールが引き続き多めに輸入されたものとみられ、今後もしばらくは同様の傾向の継続が見込まれる。
(独)農畜産業振興機構が1月24日に公表した今後のチルドビーフ輸入量予測によると、現地相場安や好調な需要を背景に、特に米国産の増加が見込まれ、1月は大幅に、2月はかなり大きく、いずれも前年を上回り、12月から2月の3ヶ月平均では、前年を大幅に上回る18.0千ﾄﾝと見込んでいる。

需要

1.家計消費

○ 総務省発表の平成28年12月度家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり牛肉購入量は722g(前年比103.4%)、支出金額が2,936円(同100.2%)と購入量は伸び、金額ベースでも僅かに増加した。

2.小売動向 12月概況

○ 日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の12月の販売統計速報によると、既存店ベースでの畜産部門の売上高は1,170億円(前年比0.4%増)となった。牛肉は和牛を中心に相場高が続いており、国産牛や輸入牛、相場が安定してきた豚肉や鶏肉の売り込みを強化している店舗が多くみられ、単価の伸び悩み傾向が強い。一方で、年末商戦では、すきやき・しゃぶしゃぶ用牛肉など和牛や銘柄牛を含め好調となった。加工品については、わずかに回復傾向もみられるようになっているとしている。

○ 日本チェーンストア協会が公表した12月販売概況によると、会員企業57社・9,489店舗の畜産品の売上は986億円(店舗調整後で前年比0.2%減)であった。畜産品では、牛肉、豚肉の動きは良かったが、鶏肉の動きは鈍かった。ハム・ソーセージ、鶏卵の動きは良かったとしている。

3.外食 12月概況

○ 日本フードサービス協会がまとめた外食産業市場調査12月度結果報告によると、前年に比べ休日数が1日多い曜日まわりの中、引き続き好調なファーストフードがクリスマスや年末の外食需要をけん引し、一部のファミリーレストランの好転と相まって、全体売上は3.3%増と4ヶ月連続して前年を上回った。焼肉では、年末の家族需要などを取り込み、売上高は4.4%増となったとしている。

在庫

1.在庫

○ (独)農畜産業振興機構公表の平成28年11月末の推定期末在庫量は、113.1千ﾄﾝ(前年比80.6%、前月比97.3%)となった。
内訳は、輸入品在庫が101.8千ﾄﾝ(前年比78.7%、前月比96.9%)、国産品在庫が11.3千ﾄﾝ(同102.5%、同100.2%)と輸入品在庫が減少したが、国産品在庫は僅かに増加した。
同機構によれば、国産品と輸入品を合わせた期末在庫は、12月が107.9千ﾄﾝ(前年比81.5%)、1月が105.3千ﾄﾝ(同 83.2%)、2月が98.2千ﾄﾝ(同 81.5%)となり、1月、2月ともに前年を大幅に下回ると予測している。

枝肉相場

1.H29年1月 速報値

○ 平成29年1月の東京市場枝肉卸売価格(速報値1/31時点)は、和牛去勢A5が2,861円(前年比101.4%)、和牛去勢A4が2,572円(同97.9%)、和牛去勢A3が2,361円(同94.9%)、交雑牛B3が1,640円(同98.7%)と、和牛去勢A5以外については前年を下回った。

2.H29年2月 予測

○ (独)農畜産業振興機構が1月24日に公表した2月の国内出荷予測頭数を品種別にみると、和牛が32.1千頭(前年比93.5%)、交雑牛が18.9千頭(同108.5%)、乳牛(雌含む)が28.3千頭(同94.9%)であり、全体では80.7千頭(同97.4%)としている。
相場予測としては、以下のとおりを見込む。

◎ 枝肉相場予想:東京市場【税込】

	平成28年12月実績		1月速報値		2月予測	3月予測
・和牛去勢 「A-4」:	2,676円	(99.1%)	2,572円	(97.9%)	2,550円	2,550円
・和牛去勢 「A-3」:	2,413円	(95.40%)	2,361円	(94.9%)	2,350円	2,350円
・交雑去勢 「B-3」:	1,754円	(98.2%)	1,640円	(98.7%)	1,650円	1,650円
・乳牛去勢 「B-2」:	966円	(87.9%)	935円	(90.3%)	950円	950円

部分肉相場

1.H29年 2月予測

◎ 首都圏仲間価格【税抜】

【和牛:4等級】		【ホルス:2等級】		【交雑牛:3等級】	
・和牛カタセット(スネなし):	3,300円	・ホルスカタセット(同):	1,750円	・交雑牛カタセット(同):	2,350円
・和牛ロースセット(ヒレなし):	6,800円	・ホルスロースセット(同):	3,600円	・交雑牛ロースセット(同):	5,200円
・和牛モモセット(スネなし):	3,700円	・ホルスモモセット(同):	1,500円	・交雑牛モモセット(同):	2,650円
・和牛トモバラ:	2,200円	・ホルストモバラ:	1,050円	・交雑牛トモバラ:	1,500円

備考

○国内生産量の推移(単位:千頭)

暦年	和牛計		交雑牛計		乳牛去勢計		成牛計	
	頭数	前年比	頭数	前年比	頭数	前年比	頭数	前年比
H25年	530.4	98.3	232.6	100.6	220.8	93.0	1,177.9	98.9
H26年	507.2	95.6	235.8	101.4	217.6	98.6	1,149.8	97.6
H27年	482.7	95.2	221.8	94.1	206.9	95.1	1,101.3	95.8
H28年	442.7	91.7	223.5	100.8	198.3	95.8	1,043.0	94.7
H28年 9月	34.9	94.2	18.3	104.7	16.2	96.3	86.1	98.1
H28年 10月	36.1	88.2	19.3	102.3	16.3	94.1	88.0	92.8
H28年 11月	47.5	94.7	21.8	103.9	17.4	97.9	103.6	97.9
H28年 12月	44.4	91.5	20.9	103.9	16.1	96.1	95.8	94.1

○輸入量の推移(単位:千ﾄﾝ, %)

暦年	輸入数量合計		チルド数量		フローズン数量	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
H25年	534	106.2	212	100.0	322	113.4
H26年	519	97.2	219	103.3	299	92.9
H27年	494	95.2	205	93.6	289	96.7
H28年	503	101.9	229	111.9	274	94.7
H28年 9月	42.3	91.8	19.2	112.6	23.1	79.6
H28年 10月	41.3	99.6	17.5	92.3	23.8	105.7
H28年 11月	43.7	97.8	21.1	115.0	22.6	85.8
H28年 12月	45.1	122.0	23.1	122.9	22.0	121.1

＊財務省:通関実績

○総務省:家計消費量(ｸﾞﾗﾑ, 円, %)

暦年	全国1世帯当り			
	数量	前年比	金額	前年比
H25年	6,881	102.1	19,589	107.9
H26年	6,584	95.7	21,176	108.1
H27年	6,232	94.6	21,234	100.3
H28年	6,439	103.3	21,898	103.1
H28年 10月	515	104.0	1,638	97.9
H28年 11月	538	107.8	1,679	99.8
H28年 12月	722	103.4	2,936	100.2

○輸出量の推移(単位:ﾄﾝ、%)

暦年	チルド数量	前年比
H25年	414.8	146.3
H26年	633.3	152.7
H27年	873.2	137.9
H28年	1,005.5	115.1
H28年 10月	106.9	131.7
H28年 11月	88.7	100.5
H28年 12月	102.8	106.4

※輸出数量は冷蔵品のみ

○市況の推移: 東京市場(税込み、単位:円/kg、%)

暦年	和牛去勢A-4		和牛去勢A-3		交雑牛去勢B-3		乳牛去勢B-2	
	価格	前年比	価格	前年比	価格	前年比	価格	前年比
H24年	1,643	104.6	1,448	109.0	1,061	98.4	546	101.3
H25年	1,872	113.9	1,716	118.5	1,231	116.0	761	139.4
H26年	1,929	103.0	1,759	102.5	1,277	103.7	823	108.1
H27年	2,354	122.0	2,219	126.2	1,636	128.1	1,075	130.6
H28年	2,617	111.2	2,446	110.2	1,680	102.7	1,015	94.4
H28月 9月	2,555	108.9	2,367	106.8	1,686	101.6	949	85.1
H28月 10月	2,598	106.1	2,425	103.9	1,673	97.5	953	86.1
H28月 11月	2,637	102.3	2,446	100.0	1,645	94.6	1,024	91.3
H28月 12月	2,676	99.1	2,413	95.4	1,754	98.2	966	87.9
H29月1月速報値	2,572	97.9	2,361	94.9	1,640	98.7	935	90.3

農水省食肉流通統計(速報値は東京市場、生体価格の単純平均値)